

2025年3月26日

各 位

ウェルネット株式会社（東証スタンダード、札幌：2428）

スピードスケートの山本悠乃選手を社員に迎え 3名になった社員アスリートの夢の実現を支援します

ウェルネット株式会社（北海道札幌市、代表取締役社長：宮澤 一洋、以下「ウェルネット」）は、2025年4月1日より、スピードスケートの山本悠乃（やまもと ゆうだい）選手を社員に迎えるとともに、スポンサー契約を締結いたします。現在社員アスリートとして活動している山田将矢選手、山田和哉選手に続き、新たに山本悠乃選手を迎え3選手の活動支援を行ってまいります。

ウェルネットは北海道のスポーツ振興および北海道、札幌市などと連携し、スポーツの普及を目指す北海道オール・オリンピアンズが進める、スピードスケート選手を地元企業がサポートしチーム化する構想「スクラム」プロジェクトに2022年から参画しました。

ウェルネットは「安心・安全・快適・便利を最大効率で実現する」「社員に自身の可能性を試すフィールドを提供する」をコンセプトに、電子決済及びその周辺、交通事業者向け先進的なクラウドサービスの開発・提供を通じて世の中のDX化を推進しています。近年では交通事業者向け電子チケット・認証システムを関西地域大手私鉄が導入※1、また日本通信株式会社との「本人認証付き電子マネー」の共同開発による「安心・安全な電子マネー」の社会実装を通じ、誰もが安心して使える生活密着フィンテックを積極的に推進しています。

ウェルネットは2021年7月に新本社を竣工、同年12月に東京から創業の地札幌へ本店移転するなど、ふるさとの札幌市、北海道との連携を深めており、今般3人目の社員アスリートを迎え、その夢の実現を支援することで、地元北海道地域への貢献を行ってまいります。



※1

【2024年6月導入】

大阪メトロ、阪急、阪神、南海、近鉄、京阪、大阪シティバス

【2025年4月以降導入予定（3月26日現在発表済事業者）】

神戸電鉄、大阪モノレール、神戸市交通局、山陽電気鉄道、神戸新交通（ポートライナー、六甲ライナー）

山本悠乃選手の主な戦歴

・2019-2020 シーズン

ユースオリンピック冬季競技大会（ローザンヌ） 500m 優勝

・2022-2023 シーズン

全日本距離別選手権大会 500m 6 位

・2023-2024 シーズン

ワールドカップ（帯広） 500m 4 位

ワールドカップ（北京） 500m 6 位

ワールドカップ（スタヴァンゲル） 500m 13 位

ワールドカップ（トマショフ） 500m 17 位

ワールドカップ（ソルトレイクシティ） 500m 11 位

ワールドカップ（ケベック） 500m 17 位

第 96 回日本学生氷上競技選手権大会 500m 3 位/1000m 4 位

・2024-2025 シーズン

第 97 回日本学生氷上競技選手権大会 500m 3 位/1000m 4 位